

令和 8 年度逗子市療育推進事業検討会 次第

日時 2026 年(令和 8 年) 7 月 14 日 (火)
10 : 00～

場所 療育教育総合センター 3 階
教育研究相談センター研修室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

- (1) 逗子市こども発達支援センター令和 7 年度事業報告及び運営改善案への取り組みについて
- (2) 逗子市こども発達支援センター令和 8 年度における取り組みについて
(意見交換)

4 その他

5 閉会

配布資料

- ・ 次第
- ・【資料 1】 令和 7 年度相談部門ひなた事業報告書
- ・【資料 2】 令和 7 年度療育部門くろーばー事業報告書
- ・【資料 3】 令和 8 年度における取り組みについて (意見交換)
- ・ 令和 8 年度逗子市療育推進事業検討会名簿
- ・ 逗子市療育推進事業検討会運営要綱

逗子市療育推進事業検討会名簿

2026年（令和8年）4月1日現在

	所 属 等	氏 名
1	公募市民	村松 直浩
2		本末 雄介
3		徳光 美穂
4	逗子市手をつなぐ育成会	渡部 有美
5	逗子市自立支援会議	(福)湘南の風支援センター風 主査 大野 美香
6	逗葉私立幼稚園協会	聖和学院幼稚園 園長 武藤 薫子
7	逗子市保育施設連絡協議会	桜山保育園 園長 寺澤 光子
8	神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所	子ども相談課 課長 星 香澄
9	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	保健福祉課長 佐々木 摂子
10	市職員	障がい福祉課長 沼田 千亜紀
11		学校教育課長 小野 憲
12		子育て支援課長 伊藤 英樹
13	アドバイザー	相模女子大学 人間社会学部人間心理学科 日戸 由刈

逗子市こども発達支援センター ひなた



ひなた・くろーばー

相談部門ひなた

令和7年度の実績

令和7年度 相談部門ひなた センターケース

- **新規利用児童数**

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
未就学	72	73	58	67
学齡	48	33	43	40
合計	120	106	101	107

- **継続利用児童数（新規も含む）**

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
未就学	185	198	185	181
学齡	535	604	700	786
合計	720	802	885	967

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

年齢別新規実人数

(令和8年3月31日現在)

年齢	実人数	年齢	実人数
0歳	1	10歳	2
1歳	3	11歳	2
2歳	19	12歳	6
3歳	14	13歳	4
4歳	12	14歳	0
5歳	18	15歳	0
6歳	11	16歳	0
7歳	7	17歳	0
8歳	4	18歳	0
9歳	4	合計	107

新規利用児童の紹介ルート

(令和8年3月31日現在)

	子育て支援課の健診からのケース			子育て支援課	障がい福祉課	教育研究相談センター	学校	幼保 巡回含む	HP	知人	その他	合計
	4カ月健診	1歳6カ月健診	3歳健診									
4月	0	2	0	0	0	2	0	6	1	0	6	17
5月	0	2	0	0	0	0	0	2	2	3	2	11
6月	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	4	7
7月	0	0	0	1	0	1	0	3	0	2	0	7
8月	0	0	0	0	0	1	0	3	1	1	1	7
9月	0	0	0	2	0	0	0	4	2	0	1	9
10月	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	3	7
11月	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	1	7
12月	0	0	0	1	0	1	0	4	4	0	1	11
1月	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	1	7
2月	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
3月	0	0	0	3	0	1	0	6	0	0	2	12
合計	0	4	0	7	0	8	6	38	14	8	22	107
※その他 (こども医療センター等医療機関、他市療育センター・児童発達支援センター・幼少期利用及び兄弟姉妹児利用等)												

年齢別継続利用実人数

(令和8年3月31日現在)

年齢	実人数	年齢	実人数
0歳	3	10歳	71
1歳	8	11歳	93
2歳	25	12歳	68
3歳	34	13歳	79
4歳	43	14歳	56
5歳	68	15歳	32
6歳	71	16歳	29
7歳	77	17歳	29
8歳	74	18歳	15
9歳	92	合計	967

障がい種別実人数

(令和8年3月31日現在)

	身体障害手帳所持		療育手帳所持		身体障害手帳および療育手帳両所持		身体障害手帳および療育手帳未所持		
	未就学	学齢	未就学	学齢	未就学	学齢	未就学	学齢	合 計
身体障がいおよびその可能性	0	6	0	2	0	5	9	10	32
知的障がいおよびその可能性	0	0	2	29	0	3	4	22	60
言語障がいおよびその可能性	0	1	0	1	0	1	30	70	103
発達障がいおよびその可能性	0	0	1	7	0	0	128	606	742
その他	0	0	0	0	0	1	7	22	30
合 計	0	7	3	39	0	10	178	730	967

※その他、「発達障がいを伴わないと思われる偏食の相談」「未歩行での相談後、歩行できるようになり相談終了」「育児相談」「交友関係の相談」「身体障がい・知的障がいの重複」等。

医療相談のべ人数

(令和8年3月31日現在)

児童精神科					リハ科		
相談		コンサル		合計	相談		合計
未就学	学齢	未就学	学齢		未就学	学齢	
6	13	0	1	20	10	4	14

※児童精神科：こども医療センターDr 隔月
横浜市大病院Dr 毎月

※リハ科：横浜市大病院Dr 毎月

※相談は、利用者の来所医療相談、コンサルは、ケースの支援について、センター職員がDrから助言等を受けたものを指す。

経過観察グループ人数

(令和8年3月31日現在)

	こぐまグループ (1～3歳児)	
クール	実人数	のべ人数
1 (5月～6月)	4	29
2 (8月～9月)	2	14
3 (10月～12月)	4	24
4 (1月～3月)	5	29
計	15	96

	ぱんだグループ (3～5歳児)	
クール	実人数	のべ人数
1 (5月～6月)	2	11
2 (8月～9月)	4	22
3 (10月～12月)	4	21
4 (1月～2月)	3	13
計	13	67

- ・ こぐまグループ : 9 : 45～11 : 15 (全8回 : 親子)
- ・ ぱんだグループ : 15 : 00～16 : 00 (全6回 : 分離)

令和7年度 相談部門ひなた

利用児童数

(センターケース含む全利用児数)

職種別相談実人数

(令和8年3月31日現在)

	市内人口	利用児童数	内 訳						
			相談員	心理士	言語聴覚士	理学療法士	作業療法士	保育士	保健師
職員数		17	4	3	3	2	3	2	0
0歳	250	3	3	0	0	3	0	0	0
1歳	271	23	17	19	0	2	1	3	0
2歳	276	46	40	33	7	0	1	16	0
年少	315	60	51	40	12	4	6	7	0
年中	372	86	69	54	33	2	9	9	0
年長	362	82	74	52	53	5	34	10	0
小・低学年	805	109	107	77	44	4	42	6	0
小・中学年	858	52	50	28	13	1	9	1	0
小・高学年	1,008	40	37	29	7	1	6	0	0
中学生	1,491	52	52	39	5	1	8	0	0
義務教育終了後	2,014	8	6	3	3	0	0	0	0
合計	8,022	561	506	374	177	23	116	52	0

(※重複利用あり。令和7年度は保健師欠員)

職種別相談件数

(令和8年3月31日現在)

	相談員	心理士	言語 聴覚士	理学 療法士	作業 療法士	保育士	保健師	合計
0歳	73	0	0	45	0	0	0	118
1歳	125	39	0	41	1	37	0	243
2歳	511	141	10	0	3	140	0	805
年少	388	128	23	8	24	39	0	610
年中	506	147	146	2	21	47	0	869
年長	958	144	449	7	187	38	0	1,783
小・低学年	900	199	143	24	68	9	0	1,343
小・中学年	421	98	56	2	21	2	0	600
小・高学年	231	87	23	2	15	0	0	358
中学生	338	172	21	2	16	0	0	549
義務教育終了後	28	7	8	0	0	0	0	43
合計	4,479	1,162	879	133	356	312	0	7,321

(※重複利用あり。令和7年度は保健師欠員)

未就学児定期巡回相談件数

(令和8年3月31日現在)

※巡回対応：年間3回の巡回相談において支援者支援の対象となった児童実数。

※センターケース：前年度3月末までにセンターを利用している児童実数。

※面談のべ人数：巡回対応ケースを対象に当日園で実施した人数。

別日で実施した人数およびセンターケースは入っていない。

	園	巡回回数 (回)	支援を行った児童 実人数(人)		支援を行った児童 のべ人数(人)		相談につな がった人数 (人)	面談を行っ たのべ人数 (人)
			巡回対応	センター ケース	巡回対応	センター ケース		
1	幼稚園 (4)	9	53	27	82	56	14	16
2	認定こども園 (1)	1	3	0	3	0	1	0
3	保育所施設 (17)	40	98	32	166	64	23	27
	合計(22)	50	154	59	251	120	38	43

※定期巡回以外に実施した巡回相談件数：7回・17人

(市外の幼稚園(3)市外の保育所施設(1)および定期巡回時期以外に希望のあった市内の園(2))

学校との連携

(令和8年3月31日現在)

- ※巡回相談：市立小中学校への定期巡回、ケース巡回および令和7年度より開始したチェックバック巡回
 (年長時に就学相談を行った児童を対象に指導主事と療育相談員で小学校へ実施する巡回)を含む。
 ※情報連携：先生方との情報共有、連携、支援方針の検討等のすべてを含む。
 ※会議：学校主催のケース会議の他に、学校の先生が参加した担当者会議、サポート会議等福祉的な会議も含む。

		巡回相談		支援シート作成		情報連携	引継ぎ会議		会議
		(回)	(人)	(人)		(回)	(回)	(人)	(回)
				年長児	学齢児				
1	市立小学校 (5)	12	97	19	12	123	5	40	26
2	通級指導教室 (2)	0	0	—	—	9	4	28	0
3	市立中学校 (3)	5	10	—	—	42	—	—	4
4	支援学校 (2)	0	0	—	—	7	—	—	2
5	その他 (2)	0	0	—	—	3	—	—	3
	合計	17	107	19	12	184	9	68	35

令和7年度 相談部門ひなた

講座・勉強会等

* 公開講座

『地域で作る子どもの笑顔

～怒りをコントロールできない子供の理解と対応について～』

日 時：令和7年6月27日（金） 9：30～11：30

講 師：八景コエールクリニック 児童思春期精神科医 南 達哉氏

参加者：来場 35名 ・ オンライン参加者 40名 計75名

＊小学校・中学校就学に向けての家族勉強会（ひなたサロン）

→先輩保護者から、就学までの経緯や入学してからの様子などの経験談を聞き、就学準備に活かすための勉強会。

①令和7年6月26日（木） 10：00～11：00

「特別支援学級について」

参加者：11名（内訳：先輩保護者 3名、保護者 8名）

②令和7年7月10日（木） 10：00～11：00

「通級指導教室について」

参加者：9名（内訳：先輩保護者 2名、保護者 7名）

③令和7年7月11日（金） 10：00～11：00

「中学校特別支援学級について」

参加者：9名（内訳：先輩保護者 2名、保護者 7名）

*ペアレントプログラム

→保護者を対象に、スタッフによる専門分野からの話やグループディスカッションを通じて、こどもの育ちについての理解を深めるための講座。

3回の連続講座 申込者：10名

①令和7年9月9日（火） 10：00～12：00 参加者：7名

「乳幼児の心の発達」 臨床発達心理士

「ことばの育ちを支えるために」 言語聴覚士

②令和7年9月19日（金） 10：00～12：00 参加者：5名

「気になる？乳幼児の運動発達」 理学療法士

「体感してみよう！感覚と動作の関係」 作業療法士

③令和7年9月25日（木） 10：00～12：00 参加者：4名

「こども発達支援センターの紹介」 療育相談員

「3回の講座を通して考えるこどもの育ち」グループディスカッション/全体のまとめ

*オープンデイ 『施設見学と療育体験』

日 時：令和8年1月8日（木） 13：30～16：30

場 所：逗子市こども発達支援センター

参加者：44名（幼稚園・保育園・小学校・中学校の先生等の支援者）

内 容：こども発達支援センターの支援の視点や、大切にしている事を支援者と共有する。

また、センターの役割や機能の紹介、実際に行っている活動の体験を行う。

* 1階プレイルーム1：展示と体験

ひなた個別・グループ教材・参考文献・

ひなたファイル・紹介動画他

* 2階プレイルーム3・4・5：見学と体験

放デイ・児発・感覚あそび

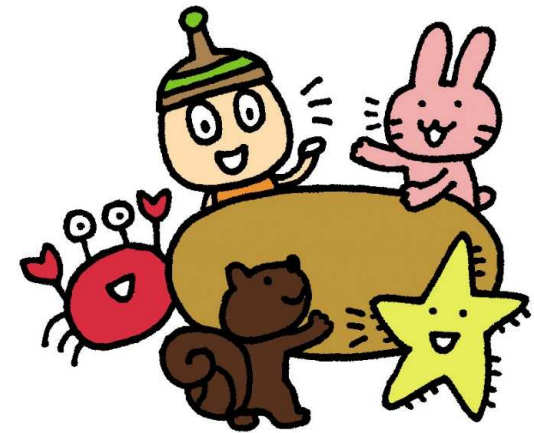
令和7年度重点事項

関係機関との密接な連携

- センター機能の情報発信
- 地域への情報発信

議題

こども発達支援センターの認知度を
上げるための有効な情報発信とは？



*公式Instagramの運用

開設日：令和7年2月13日

フォロワー数：281人（令和8年7月1日現在）
前年比+165人

投稿頻度：月2～3回程度

投稿内容：講座等イベントの周知、日々の療育の様子等



＊こども発達支援センター案内ちらしの作成 ＊巡回相談チラシのリニューアル



*療育教育総合センター紹介動画の作成・公開

公開日：令和8年2月24日

再生回数（令和8年7月1日時点）

YouTube 133回

Instagram 584回



令和8年度の取り組み

*保護者支援

こども発達支援センターにおける
「ペアレントプログラム」のあり方について

療育部門くろーばー 令和7年度の実績

児童発達支援事業

登録児数(各月1日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通園クラス	にじ組	10	10	10	10	10	9	8	8	8	8	8	8	8.9
	つき組	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2.1
	おひさま組	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	ほし組	1	2	2	2	2	3	4	5	5	5	5	6	3.5
	その他	1	1											1.0
通園クラス合計		14	16	15	15	15	15	15	16	16	16	17	18	15.7
午後クラス	いるか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	くじら	0	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	2.0
午後クラス合計		0	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	2.0
登録児数合計		14	17	16	16	16	16	17	19	19	19	20	21	17.5

定員数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数 (通園クラス+午後グループ)	21	20	22	23	21	18	22	19	21	19	18	21	245
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ利用児数	76	77	88	89	75	71	70	71	90	86	69	97	959
利用率 延べ利用児数/(開所日数×定員)	36%	39%	40%	39%	36%	39%	32%	37%	43%	45%	38%	46%	39%

※ 利用率については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

定員数からみた平均利用率 = 39%

登録児数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ登録児数	86	106	129	122	109	98	118	105	131	124	106	130	1,364
延べ利用児数	76	77	88	89	75	71	70	71	90	86	69	97	959
利用率 延べ利用児数/延べ登録児数	88%	73%	68%	73%	69%	72%	59%	68%	69%	69%	65%	75%	70%

※ 利用率については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

登録児数からみた平均利用率 = 70%

通園クラス利用児の年齢及び性別(令和 8 年3月末)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0%
2歳児	3	1	4	24%
3歳児	1	0	1	6%
4歳児	4	0	4	24%
5歳児	5	3	8	47%
合計	13	4	17	100%

※ 構成比については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

午後クラス利用児の年齢及び性別(令和 8 年3月末)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0%
2歳児	0	0	0	0%
3歳児	0	0	0	0%
4歳児	0	0	0	0%
5歳児	1	2	3	100%
合計	1	2	3	100%

※ 構成比については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

放課後等デイサービス事業

登録児数(各月1日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録児数合計	51	57	62	65	65	65	64	64	64	64	64	64	62.4

定員数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	22	22	22	23	18	20	23	19	22	19	19	21	250
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ利用児数	156	199	205	188	132	189	205	161	198	170	159	194	2,156
利用率 延べ利用児数/(開所日数×定員)	71%	90%	93%	82%	73%	95%	89%	85%	90%	89%	84%	92%	86%

※ 利用率については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

定員数からみた平均利用率 = 86%

登録児数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ登録児数	199	254	274	281	225	260	278	231	268	229	233	261	2,993
延べ利用児数	156	199	205	188	132	189	205	161	198	170	159	194	2,156
利用率 延べ利用児数/延べ登録児数	78%	78%	75%	67%	59%	73%	74%	70%	74%	74%	68%	74%	72%

※ 利用率については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

登録児数からみた平均利用率 = 72%

利用児の年齢及び性別(令和8年3月末)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
6歳児(小1)	8	4	12	19%
7歳児 (小2)	6	3	9	14%
8歳児 (小3)	4	0	4	6%
9歳児 (小4)	4	0	4	6%
10歳児 (小5)	7	2	9	14%
11歳児 (小6)	6	0	6	9%
12歳児 (中1)	4	3	7	11%
13歳児 (中2)	7	1	8	13%
14歳児 (中3)	1	1	2	3%
15歳児 (高1)	1	1	2	3%
16歳児 (高2)	0	0	0	0%
17歳児 (高3)	0	1	1	1%
合計	48	16	64	100%

※ 構成比については、小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

巡回相談・地域支援事業

児童発達支援事業

全在園児数 令和8年3月末現在 21名

うち、幼稚園・保育園と並行利用児（プレ含む） 19名

対象の全21名所属の市内外8園に巡回を実施しました。巡回時の対象児の様子と、普段の関わりの中で各園の先生方がうまくいっていることと迷っていることや悩んでいることについて情報共有や意見交換を行いました。また、保護者に対しても当日の様子と合わせてくろーばーでの今後の支援等について伝えています。

放課後等デイサービス事業

市内の小学校5校、中学校3校に相談部門(ひなた)の巡回に同行しています。くろーばー利用の有無に関わらず、支援が必要な児童・生徒に対して学校内でどのような取り組みができるかを各学校の先生方と検討し、療育的な視点から助言等を行っています。

それと合わせて、放課後児童クラブ（学童）のスタッフの方ともくろーばーを利用している方についての情報共有や過ごし方について一緒に考える機会を設けています。

障がい児保育勉強会

くろーばーの在籍児が所属している保育園・幼稚園等の先生を対象に、障がい児保育の基本的な考え方や、明日の保育からすぐに実践できる取り組みなどについて、小川統括施設長が講師となり実施しました。

自閉症スペクトラム障害全般についてや、日ごろ感じている疑問などのテーマ別に実施することと合わせて、くろーばー職員を交えてのグループワークも行い、現場同士の視点でより実践的な内容になるように行いました。年間で全3回にわたり開催し、延べ11名の参加がありました。

くろーばーとして進めている取り組み

地域との交流

〇ふれあいフェス

令和7年度も、こどもたちが作成したレジンを用いたアクセサリーやアイロンビーズを加工したクリスマスツリーなどの小物類と、当法人の成人期を対象とした事業所「餃子いちばん」の自主製品である餃子の焼成やパック詰めなどを取り組み、販売の体験をしました。また、日々の活動においても材料の調達（買い物）や製品の作成時の個数等の目標設定や製品の仕上がり具合等、当日の製品の陳列など販売体験だけではなく、事前の準備や計画の段階からこどもたちが主体的に参加できるように取り組みました。



○池子やま文化祭

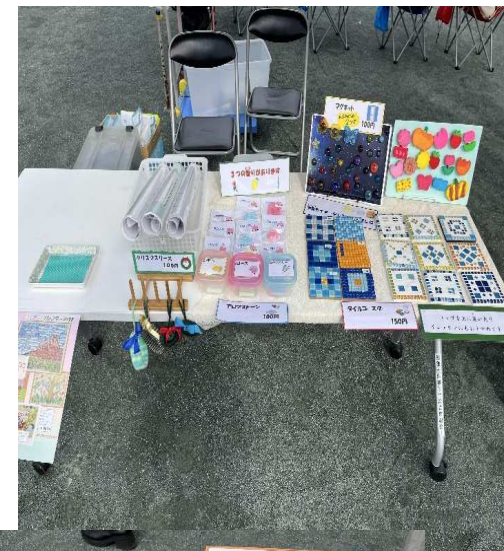
ふれあいフェスの経験や実績から、地域の小学校のお祭り（池子やま文化祭）から声を掛けていただきました。

その学校の在籍児や卒業生を中心に活動のメンバーを構成し、実際の活動を通して同級生やその学校の先生方にもくろーばーでの取り組みを見ていただく機会になりました。

○事業所見学会

放課後等デイサービス利用児の保護者向けに実施している成人期以降の事業所の見学会を、くろーばーの卒業生が利用している生活訓練（自立訓練）の事業所で行いました。

高校を卒業した後にすぐに就労につながるだけではないことを知り、各家庭の環境や本人のスタイルに合った進路について、さまざまな選択肢のもとに検討するということに触れる機会となりました。



議題（2）

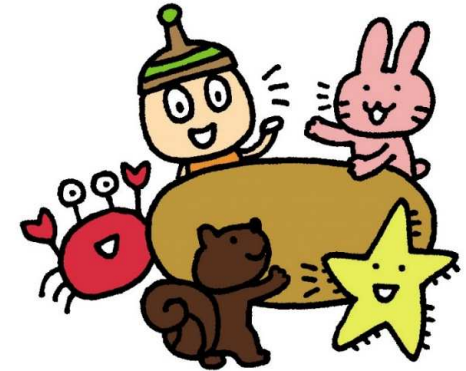
逗子市こども発達支援センター

令和8年度における取り組みについて（意見交換）



令和8年度検討事項

こども発達支援センターにおける



「ペアレントプログラム」 のあり方について



こどもの育ちを支えるために

こどもを育てていく中で「まわりと違うなあ」「こんなことは出来るのに、何故これは出来ないのかな?」「こどもの育ちはひとりひとり違うと言われても・・・」など、疑問や不安に思う事があるかもしれません。

今回は乳幼児（0歳から6歳くらいまで）の発達について、こども発達支援センターのスタッフがそれぞれの専門分野からお話させていただき、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

日 程	内 容	講 師
第1回 9月9日（火） 10：00-12：00	「乳幼児の心の発達」 「ことばの育ちを支えるために」	臨床発達心理士 言語聴覚士
第2回 9月19日（金） 10：00-12：00	「気になる？乳幼児の運動発達」 「体感してみよう！感覚と動作の関係」	理学療法士 作業療法士
第3回 9月25日（木） 10：00-12：00	こども発達支援センターの紹介 講座を通して考えるこどもの育ち	療育相談員

場 所 *療育教育総合センター 1階 プレイルーム2

対象者 *乳幼児の子育てに関心のある市内在住・在勤の方
*3回すべての講座に参加できる方
※定員10名（先着順：定員になり次第締め切らせていただきます。）

申 込 *電話・FAX・Eメールにて、こども発達支援センターへお申込みください。

※8月1日（金）9時 ～ 8月26日（火）まで
※託児（先着5名）、手話通訳、要約筆記は8月19日（火）までに

注意事項 *館内土足禁止のため、スリッパや上履きなどをご持参ください。
*駐車場に限りがありますので、当日は公共交通機関のご利用をお願いいたします

「ペアレントプログラム」とは？

（目的）

- ・ こどもの育ち方は、ひとりひとり違うことを知ってもらう
- ・ こどもの困り感に気づき、それを解消するための手立てを考えていく
- ・ こどもひとりひとりが自己肯定感を持って、いきいきと生活していけるようになる
- ・ 保護者が安心して子育てをしていけるようになる

これまでの実施状況

【資料3】

	第1回 (令和元年度)	— (令和2年度) 新型コロナ により中止	— (令和3年度) 新型コロナ により中止	第2回 (令和4年度)	第3回 (令和5年度)	第4回 (令和6年度)	第5回 (令和7年度)
対象者	市内在住の保護者 ・4回すべて参加できる方 (定員30名)	—	—	市内在住の保護者 ・4回すべて参加できる方 (定員10名) ・定員に満たない場合は聴講形式も可	幼稚園・保育園・小中学校の先生方 (40名)	市内在住の保護者 ・3回すべて参加できる方 (定員10名) ・定員に満たない場合は聴講形式も可	市内在住の保護者 ・3回すべて参加出来る方 (定員10名) ・定員に満たない場合は聴講形式も可
内容	4回連続講座 (講義・WS・グループディスカッション)	—	—	4回連続講座 (講義・WS・グループディスカッション)	1日集中研修 (センター機能の周知・視点共有)	3回連続講座 (講義・WS・グループディスカッション)	3回連続講座 (講義・WS・グループディスカッション)
参加人数	第1回：16名 第2回：15名 第3回：12名 第4回：13名	—	—	第1回：7名 第2回：6名 第3回：5名 第4回：7名	25名	第1回：7名 第2回：7名 第3回：5名	第1回：7名 第2回：6名 第3回：4名

参加者、スタッフからの感想・意見

専門的な分野からの視点で話が聞けて勉強になった。ワークショップもよかった。

施設内やセンターの仕組みを知れてよかった。

対象が「3日間参加できる人」とのことで諦めていた。友人から「単発でも参加可能」と聞いて参加した。

支援者向けのプログラムもあると良い。

継続できるのであれば大切な内容だと思う。

専門職の負担を考慮しながら継続できれば良い。

etc... 5

見えてきた課題

- 受講者からは好評、継続を希望する声が多い
- 「全日程参加」のハードルの高さ
- 限られたスタッフでの準備や運営体制の維持
- 多様なニーズへの対応
(保護者向け、支援者向け)

→令和8年度は「見直しの年度」として、センター内でワーキンググループを立ち上げ、抜本的な検討を行う

ご意見をお聞かせください



ペアレントプログラムの
『質の維持』と『参加しやすさの向上』
を両立させるためには？